



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社  
コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤堂 裕隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 関 裕司

TEL 03-5225-3611

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	649	27.9	△43	—	△75	—	△117	—
23年3月期第1四半期	508	△86.4	△106	—	△178	—	462	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △135百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 474百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.43	—
23年3月期第1四半期	9.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	2,965	1,278	42.1	25.91
23年3月期	3,718	1,496	39.5	30.51

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,247百万円 23年3月期 1,469百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,450	50.2	0	—	△30	—	△27	—	△0.56
通期	3,000	18.3	0	—	△45	—	△2	—	△0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	62,994,620 株	23年3月期	62,994,620 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	14,845,495 株	23年3月期	14,845,495 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	48,149,125 株	23年3月期1Q	48,149,127 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災及び原子力発電所に係る諸問題に加え、政治情勢の混迷に伴う復興の遅れや欧米の財政不安が払拭されず円高が進むなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化・収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いコンテンツ、サービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は649百万円（前年同四半期比27.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [メディア&マーケティング事業]

市場調査業務は、東日本大震災の影響により延期およびキャンセルとなった案件もありましたが、計画を若干上回りました。一方で、出版関連におきましては、出版物の製作金額は、リストラを行った前年同期と比して396.4%増となり、委託も予定どおり進んだものの、広告収入の低迷及び前連結会計年度に委託した雑誌の返品計上が重なったことにより、売上高は286百万円（前年同四半期比34.6%増）にとどまりました。

#### [カードソリューション事業]

モバイルカード決済端末サービスは順調に推移した結果、売上高は228百万円（前年同四半期比40.6%増）となりました。

#### [データセンター事業]

データセンター事業はラック数が堅調に推移した結果、売上高は134百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

損益面につきましては、営業損失は43百万円（前年同四半期は営業損失106百万円）となり、急激な円高による為替差損20百万円の計上等により経常損失は75百万円（前年同四半期は経常損失178百万円）となりました。

また、持分法適用関連会社であったセブンシーズ・テックワークス㈱株式の一部を譲渡したことによる関係会社株式売却損62百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純損失は117百万円（前年同四半期は四半期純利益462百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,965百万円（前連結会計年度末比20.2%減、753百万円減）となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

負債は、1,687百万円（前連結会計年度末比24.1%減、535百万円減）となりました。これは主に短期借入金の減少によるものです。

純資産は、1,278百万円（前連結会計年度末比14.5%減、217百万円減）となりました。これは主に利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

#### 1) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社が保有するセブンシーズ・テックワークス㈱の株式の一部を譲渡したため、同社及び同社子会社の㈱ピーアール・ライフは当社の持分法適用の関連会社ではなくなっております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成20年3月期から平成23年3月期まで継続して営業損失を計上しており、当第1四半期においても営業損失43百万円を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

当該重要事象等を解消すべく、以下のとおり対応しております。

#### ①メディア&マーケティング事業

メディア（出版）事業においては、前連結会計年度にて、広告売上に依存する傾向にあった男性向けファッション雑誌「オーシャンズ」、女性モードファッション誌「ハーバース・バザー日本版」、若者向け音楽ファッション雑誌「ローリングストーン日本版」の雑誌媒体を事業譲渡したことに加え、景況感悪化による影響が損益に直結する広告売上に依存しない実売型の雑誌及びムックの委託や出版に係るノウハウ、取引口座等を活用した編集受託、企業向けの各種販促ツール受託等を進め、収益の多角化および改善を目指してまいります。

市場調査事業においては、国内企業の受注が増加しており、海外顧客とのバランスを取り、さらなる安定的な収益の確保を目指してまいります。

#### ②カードソリューション事業

当事業においては、平成23年3月期第1四半期連結累計期間より黒字化を実現しており、通信規格変更に伴う端末変更に係る契約料および取扱高も堅調に推移しております。更なる収益向上に向け、新規顧客の獲得を行ってまいります。

#### ③データセンター事業

当事業においては、平成22年3月期第1四半期連結累計期間より営業利益を計上しており、当該業務の拡充を図るべく、営業の強化を行ってまいります。

#### ④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、固定費の圧縮を実施しております。

各事業における上記の施策を講じることにより、収益性の改善を図っているに加え、保有資産の売却等により有利子負債の圧縮を実現しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,207	460,869
受取手形及び売掛金	911,988	722,538
たな卸資産	18,943	35,251
未収入金	188,419	137,043
返品債権特別勘定引当金	△67,171	△83,227
その他	107,681	96,638
貸倒引当金	△45,852	△28,197
流動資産合計	1,744,216	1,340,915
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	538,770	565,112
工具、器具及び備品(純額)	169,391	256,922
建設仮勘定	39,000	32,700
その他(純額)	112	84
有形固定資産合計	747,274	854,819
無形固定資産		
のれん	551,605	531,471
その他	12,268	10,845
無形固定資産合計	563,873	542,316
投資その他の資産		
投資有価証券	337,185	53,094
貸貸資産(純額)	270,141	104,186
破産更生債権等	382,775	382,775
その他	126,015	150,244
貸倒引当金	△452,522	△462,400
投資その他の資産合計	663,595	227,900
固定資産合計	1,974,743	1,625,036
資産合計	3,718,960	2,965,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,571	268,168
短期借入金	388,500	190,545
1年内返済予定の長期借入金	291,553	174,575
未払費用	419,230	335,691
返品調整引当金	12,200	—
その他	115,009	105,665
流動負債合計	1,525,065	1,074,645
固定負債		
長期借入金	472,807	599,014
退職給付引当金	8,017	8,175
その他	217,017	5,619
固定負債合計	697,842	612,808
負債合計	2,222,907	1,687,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461,832	3,461,832
資本剰余金	1,058,924	1,058,924
利益剰余金	△224,068	△426,994
自己株式	△2,868,444	△2,868,444
株主資本合計	1,428,243	1,225,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△15,370
為替換算調整勘定	40,870	37,763
その他の包括利益累計額合計	40,870	22,393
新株予約権	26,938	30,787
純資産合計	1,496,053	1,278,497
負債純資産合計	3,718,960	2,965,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	508,317	649,973
売上原価	355,394	436,298
売上総利益	152,922	213,675
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	93,877	80,933
返品債権特別勘定引当金繰入額	—	16,055
その他	165,621	159,987
販売費及び一般管理費合計	259,498	256,976
営業損失(△)	△106,576	△43,301
営業外収益		
受取利息	573	1,086
受取賃貸料	22,354	1,908
貸倒引当金戻入額	—	7,800
その他	1,918	4,642
営業外収益合計	24,847	15,437
営業外費用		
支払利息	17,268	15,119
賃貸費用	19,320	3,292
為替差損	50,307	20,852
持分法による投資損失	9,007	7,260
その他	948	1,340
営業外費用合計	96,853	47,865
経常損失(△)	△178,582	△75,729
特別利益		
固定資産売却益	3,862	—
関係会社株式売却益	612,291	—
新株予約権戻入益	830	—
貸倒引当金戻入額	12,756	—
返品債権特別勘定引当金戻入額	3,502	—
受取設備負担金	—	30,000
その他	13,197	—
特別利益合計	646,440	30,000
特別損失		
固定資産売却損	—	7,427
固定資産除却損	53	—
関係会社株式売却損	—	62,623
投資有価証券評価損	1,298	—
貸倒引当金繰入額	1,402	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,752	—
特別損失合計	4,507	70,051

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	463,351	△115,780
法人税、住民税及び事業税	517	1,403
法人税等調整額	△2,009	—
法人税等合計	△1,492	1,403
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	464,843	△117,183
少数株主利益	2,240	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	462,603	△117,183

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	464,843	△117,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,686	△15,370
繰延ヘッジ損益	426	—
為替換算調整勘定	△3,337	△3,107
その他の包括利益合計	9,776	△18,477
四半期包括利益	474,619	△135,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,582	△135,661
少数株主に係る四半期包括利益	2,036	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング 事業	カードソリュ ーション事業	データセン ター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	213,077	162,481	132,758	508,317	—	508,317
セグメント間の内部売 上高又は振替高	13,250	11,100	—	24,350	△24,350	—
計	226,327	173,581	132,758	532,667	△24,350	508,317
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△116,170	32,196	33,752	△50,222	△56,354	△106,576

(注) 1 セグメント利益の調整額△56,354千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング 事業	カードソリュ ーション事業	データセン ター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	286,898	228,462	134,612	649,973	—	649,973
セグメント間の内部売 上高又は振替高	14,250	11,100	—	25,350	△25,350	—
計	301,148	239,562	134,612	675,323	△25,350	649,973
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△100,722	82,104	32,066	13,448	△56,750	△43,301

(注) 1 セグメント利益の調整額△56,750千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第1四半期連結会計期間において四半期純損失117百万円、持分法適用範囲変更に伴う利益剰余金の減少78百万円等を計上した結果、株主資本合計は前連結会計年度末の1,428百万円から1,225百万円に減少いたしました。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。